

読めば読むほど“大産大”が見えてくる

# SCOPE

【スコープ】



大学ならではのスポーツ競技で、オンリーワンの学生生活を!

## 大産大 CLUB 図鑑

### #02 ラクロス部

部員数 4人  
年間活動 ラクロスフェスタ、キャンプ、合宿、新人戦、リーグ戦など  
活動場所 第一グラウンド

基礎をマスターしたら、待っているのはバチバチの1on1。「テクニックだけでなく、アメフトのようなタフさも必要なんです。なんてカッコいい競技!さぞ大人気かと思ったら、意外な答えが返ってきました。

みんなが初心者で即戦力!  
合同チームならではの面白さも。

「じつは、いまの部員は僕ら3、4回生の4人だけ。大学からラクロスをはじめた部員も、初心者も大歓迎です」。OBに日本代表の元コーチや全国大会の審判もいる強豪だった部を、このまま廃部にしたくない。練習や試合は他大学との合同チームだけど、いろんな学生と交流できるのも新鮮で楽しい。「うちは道具の予備があるので0円スタートもOKだし、朝練オンリーだから放課後は自由に学生生活を楽しめるんですよ」。南さんの勧誘PRも完璧ですが、なによりもグラウンドで彼らの練習風景をひとめ見たら、男子も女子も「カッコイイ」と熱くなること間違いなし。入学したら、ぜひ一度見学へ!



成長する喜びがついてくる  
朝ジム感覚で楽しんでください!



STUDENT VOICE OF  
LACROSSE  
スポーツ健康学部 スポーツ健康学科 4回生  
(キャプテン) 南友規さん  
兵庫県立舞子高等学校出身

身につくのは華麗な技と  
飛びこむ勇氣!

「野球の投げの力、サッカーの走る力、バスケのポジション力など...高校で経験したいろんなスポーツを活かせるのがラクロス!」というキャプテンの南さん。ただし、どの競技とも違うのは、クロスという網のついたスティックでボールを操ること。「投げるのも捕るのもすべて難しいけど...できるようになったときの達成感は格別だから」と目を輝かせて語ります。まずは地道な練習で

## FASHION SNAP



COVER STUDENTS

経営学部 2回生 ◀ 前田 尚志さん  
工学部 3回生 ◀ 出口 実咲さん  
経営学部 1回生 ◀ 谷津 龍輝さん  
経営学部 2回生 ▶ 新元 結音さん  
(左) 経済学部 2回生 ▶ 北山 リリかさん  
(右) 経済学部 2回生 ▶ 角田 心乃花さん

キャンパスを歩くOSU生を撮影しました 📷



SPECIAL FEATURE  
憧れのゼミ & 研究室に潜入!

Infiltrate the seminar and laboratory!

2024

# #02

## OSU's ACCESS

JR学研都市線 住道駅から 約15分 大学シャトルバス	近鉄けいはんな線 大前下車 約15分 近鉄バス 新石切駅から
JR学研都市線 野崎駅から 約15分	近鉄奈良線 大前下車 約25分 近鉄バス 東花園駅から

SHUTTLE BUS  
住道駅から大学シャトルバスが運行しています!

オープンキャンパス 表通り 敷地内無料

Check it!  
オープンキャンパスの詳細・お申し込みはコチラから!



### ここがおもしろい！ デザイン工学部※ | 川口研究室 4回生

#### 先生自身が多種多様なプロジェクトの境！

ご当地名物の開発、空き家再生、野外映画祭など、地域や企業と連携したプロジェクトをつねに10件近く手がけている川口先生。そのプロセスやノウハウをゼミ生として関与して体感することで、自身の研究に活かされます。

#### POINT 2 学生ひとりひとりの夢実現をサポート！

たとえば「きものづくり」を、まおこし商品のPRにつなげるなど、強い思いさえあれば、自分の「やりたいこと」を社会で実現できるよう、豊富な経験とネットワークを持つ先生がしっかり伴走してくれます。

#### POINT 3 仲間や社会と協働するよろこび！

自分の夢を社会で実現するには、さまざまな人との協力が重要です。学生同士の助け合いはもちろん、地域や企業の方々ともつながりを深めながら、いっしょに取り組むよろこびを得られます。



## まちや環境とつながり 自分の夢をかなえる



川口 将武 教授  
研究分野  
まちづくり / ランドスケープ・プランニング  
受賞歴  
公園・夢プラン大賞2015  
実現した夢部門入賞



#### POINT 1 先生をお手本にして ひととの関わりを育みたい！

2回生の頃から先生のプロジェクトに参加。楽しく活動する先輩方の姿を見て、「自分もゼミ生になろう」と決心しました。なにより勉強になると感じたのは、声かけや連絡など、基本的な「ひととの関わり方」。これらも私も自身の卒業研究でも、基本を大切にしながら、多くのひとに喜ばれるプロジェクトを実現させたいです。

デザイン工学部 4回生 山下 惟さん

庭から公園・街路、里山まで、身近な緑との関わりを通して、ひとが幸せになるまちづくりを考える川口研究室。地元の行政や企業とつながることで、実際に社会で役立つモノや空間づくりにチャレンジ。そのなかで、学生自身が「やりたいこと」を達成していきます。自分で考え、動き、みんなで協力あつて社会に有益なものをつくる。そんな経験を得て各方面で活躍する卒業生たちと、いつか新たなプロジェクトで再会することが、先生自身の夢でもあります。

研究室仲間との活発なディスカッションで、自分不在の視点を発見！



地域の方々が自由に利用できる場づくりの「大東市社会福祉協議会RIBBONプロジェクト」

#### POINT 2 ゼミ生にインタビュー！

### ここがおもしろい！ 国際学部 | 藤岡ゼミ 3回生～4回生

## 英語を入り口に 言葉と文化のエキスパートへ



先生や仲間との距離がグッと近づいたYAKI NIKUミーティング！



プレゼン後は内容について質問したい、お互いに知識や語彙を広げよう！

藤岡 克則 教授  
研究分野  
英語学 / 日英対照言語学  
書籍等出版物  
「基礎からの英文法」  
「ことばとの対話」など



#### POINT 1 英語がライの子を なくすために研究中！

高校の英語教員をめざしているの、教育法にも詳しい藤岡先生のゼミを選びました。海外研修や中国語スピーチの受賞経験もある僕ですが、高校時代の英語の授業が今の苦手。だからこそ、先生のもとでしっかり知識や経験をつんで、たくさん人の生徒に外国語で世界のひととつながる楽しさを伝えたいです。

国際学部 4回生 岡本 洋之介さん



「MA-1ブームの原点は明治時代にある？」「日本食はいつ海を渡った？」など、ユニークな研究に取り組む学生が多い藤岡ゼミ。言葉や文化、教育に興味ある学生が、みずから気になる問いを見つけて、その答えを探ることを方針としています。こうした学生まかせのスタイルや飲み会コミュニケーションなど、先生いわく「昭和なゼミ」の心地よさに惹かれて、個性と自主性あふれる学生たちが集結。語学力を磨きつつ、それぞれの問いに向かっています。



#### POINT 1 英語力アップ＆ 複数留学を親身にサポート

藤岡先生がすべての学部生に達成してほしいと願っているのが、「TOEICなどの語学力アップ」と「2つ以上の異なる言語圏への研修・留学」。ゼミ生になればいつでも身近に、先生のアドバイスや応援を受けられます。

#### POINT 2 プレゼンテーションで 伝える力が強化！

お互いの研究内容をゼミ生が発表しあうプレゼンテーションは、表現力を養う絶好の機会。とくに3・4回生の会合ゼミは、学びの初心者である先輩に先輩が「わかりやすく伝える」教育の実践にもつながっています。

#### POINT 3 気まぐれ開催の YAKINIKUミーティング！

学生のタイプに合わせて、柔軟に学びのスタイルを変える藤岡ゼミ。ノリの良いメンバーが集えば、焼肉を囲んで研究の進みかたを相談する会を開催することも。教室とは違う空気の中で、新しい視点もひらけそう。



# 憧れのゼミ & 研究室に潜入！

どんな感じ？なにを学ぶ？  
大産大のゼミ・研究室



### ここがおもしろい！ 経済学部 | 古谷ゼミ 3回生・4回生

#### POINT 1 親身な個別面談で 自分だけのテーマを発見！

3回生の初めから、「どんな研究をしてみたいか」を先生とマンツーマンでじっくり相談。いろんな引き出しを持つ先生のアドバイスを受け、自分の経験や興味から見つけたオンラインの卒論テーマを深めています。

#### POINT 2 目の前にあるモノの裏を見る、 フィールドワーク！

例えば新世界となんばの街を歩いて、同じ飲食店でどんな違いがあるかを調査・分析。目の前のものを丁寧に見つめ、そうなる理由や仕組みを探るトレーニングを通して、研究はもろろん実生活にも役立つ思考力を養います。

#### POINT 3 労働条件を見極めて “間違えない”就活を！

経済学の観点から「どのように給料が決まるのか」などの労働条件を研究している古谷先生。ゼミの会合のおしゃべりや就活相談を通して、隠れブラックに騙されず「安心して働ける」企業の見極め方についても学べます。



古谷 真介 教授  
研究分野  
労働経済学 / IT産業の人的資源管理  
書籍等出版物  
「日本の情報通信産業史：2つの世界から2つの世界へ」など



#### POINT 1 本音のディスカッションが 深い絆や成果につながる。

ゼミに入る前の面談で、「この先生なら本音で話せる」と直感。まずは「自分の意見を主張することからはじまる」ゼミ活動を通して、引っ込み思案な性格が変わり、研究調査のために未知の土地でアルバイトする度胸もつきました。とくに、深い絆でつながるゼミ仲間との楽しい思い出は、かけがえのない学生生活の宝物です。

経済学部 4回生 永野 希実さん

「本当に面白いと思えることを、2年かけてじっくり突き詰める」が、古谷ゼミのモットー。少人数でチームを組んで専門書を要約したり、街に出てフィールドワークをしたり、学生同士がお互いに助け合いながら、実体験にもとづくユニークな研究に取り組んでいます。そんなグループワークを通して仲良くなったゼミ生たちは、授業以外でもさまざまな交流イベントを自主的に企画。学年をこえてつながりを深めています。

ゼミ生が自主的に企画して、学年会合のBBQ大会を開催しました！



フィールドワークの成果を学祭の「公開ゼミ」で発表するチームも！

#### POINT 2 ゼミ生にインタビュー！

#### POINT 1 2023年9月25日投稿 株式会社富士電機製作所 Instagram写真より



一般に公開されていない、鉄道関連製品の生産現場を視学できることも！



実験データの分析などは、先生にすぐ相談できる研究室や近くの教室で！

#### POINT 2 社会人0年生として 鉄道に関わる魅力を体感！

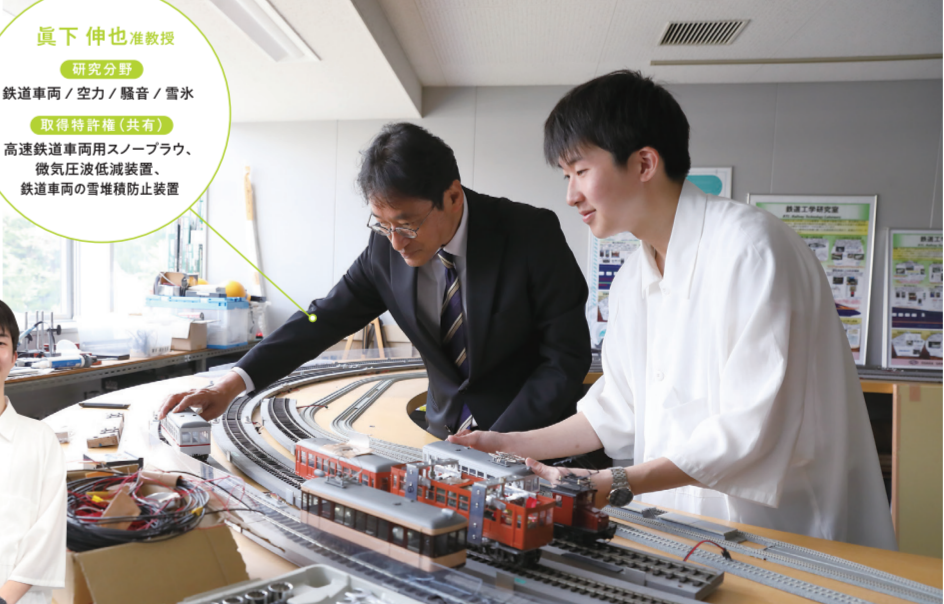
昔から好きだったものづくりを、生活に大切な鉄道分野で活かして、この研究室へ。キャンパス内で大型の鉄道模型を走らせてデータを収集するなど、実際に手や身体を動かしながら課題解決に挑める面白さを実感。また、研究を通してさまざまな企業関係者の方と会い、社会人となるための心構えも養われました。

工学部 4回生 小林 純也さん

### ここがおもしろい！ 工学部※ | 鉄道工学研究室 3回生・秋～4回生

## 鉄道の未来に向かって リアルな課題に取り組む

眞下 伸也 准教授  
研究分野  
鉄道車両 / 空力 / 騒音 / 雪氷  
取得特許権 (共有)  
高速鉄道車両用スノーブロー、  
微気圧液低減装置、  
鉄道車両の雪増積防止装置



「もっと静かに走る方法は？」「大雪の中でどう安全に走るか？」「LTRが日本で走れる条件は？」など。鉄道工学で、これからの社会をもっと快適で安心にするイノベーションに挑むのが鉄道工学研究室。長年、民間企業で鉄道車両の研究開発に携わってきた眞下先生ならではの知見やネットワークを活かし、オリジナリティにあふれる設備を用いた研究や産学連携を実施。「ひとと鉄道のよりよい明日」という大きなゴールに向けて、幅広い領域からアプローチしています。

#### POINT 1 アイデア勝負で 実験装置を手づくり！

これまでにない技術の研究するには、そのための機器が必要です。創意工夫と柔軟な発想力を活かして、オリジナルの実験装置をいちから手づくり。文献や数値を調べただけじゃなく、ものづくりの楽しさも味わえます。

#### POINT 2 現場に役立つ研究で、 社会のチカラになる！

現実に鉄道関係の企業が向き合っている課題を多く扱っているの、得られた研究成果を企業に提案する機会も。「自分の努力や発見が、実際に社会で認められて役立つ」という手ごたえが得られると格別です。

#### POINT 3 鉄道業界のリアルな こぼれ話もたっぷり！

「あくまで僕の視点だけど」と前置きしつつ、眞下先生がいた鉄道業界の「日常」をことあるごとに聞かせてもらえるのも、研究生ならではの特権。自分の性格や「やりたいこと」にあった進路を選ぶための参考になりそう。

